

閉会式における仕分け委員の講評・感想

- 市側説明者と仕分け委員である民間OBとのズレを感じた。
- この仕分けが東久留米市の発展のきっかけになれば良いと思う。

- 事業に不明な点もあったが、仕分けに参加する事で理解できた。

- 普段踏み込めないところまで勉強させていただいた。
- 今後、仕分け結果が市長の判断に委ねられるので、仕分け委員として見守っていききたい。

- 761事業のうちの10事業を仕分けしただけで、全体の問題は取り上げにくい。細かく事業を分析する事を望む。
- 今回参加して市民意識が高まった事を感謝する。

- 仕分けは継続しないと意味がないので継続してほしい。
- 仕分け結果が反映されるよう市議会、市長にお願いしたい。
- 来年以降も仕分けを実施し、市政に対して熱心に取り組む方が一人でも増えれば良いと思う。

- 市職員が「担当課」という枠に縛られている部分が多々ある。市長、管理職等が市民生活のプラスになるように調整してほしい。
- 今回は20事業しか仕分けしていない。方法は色々あるが継続してもらいたい。
- 今までは市に相談しても上から目線で見られていたが、本日は同じ目線で語ることができたので非常に良かった。

- ボランティアの市民目線で事業を見ることができた仕分けだったのではないかな。
- この仕分け結果を反映できたら良いと思う。継続して大きな力になると思うので、来年も是非継続していただきたい。

- 来年以降も仕分けを継続してもらいたい。
- 仕分け結果を市長がどのように政策に反映するのかを見守っていききたい。市長が反映しない場合は市議会で追及してほしい。

- 他自治体では外部機関、有識者等が仕分け委員に含まれていたりするが、全国的に稀な公募市民のみで市民目線、市民感覚で実施できた。
- 公募市民のみで実施できたのは仕分け市民委員、市職員の努力があつてのことで感謝している。
- 来年だけでなく、3年後、4年後も仕分けを続けて、予算反映に結び付くように10月のこの時期に仕分けを実施して、仕分け結果が反映されるよう市幹部、市長、市議会議員にお願いしたい。

- 今回は行政側の大変なご尽力、努力に感謝したい。これまで資料をたくさんいただいた。このようなオープンのところが今回の特徴ではないか。
- 様々な資料が閲覧できるようにしてあれば、市側に手間をかけず資料を入手できたと思う。
- 試行錯誤をして検討しつつ、年1回ではなく、2回、3回でも仕分けをやってほしい。
- 市民感覚ではなく、庶民感覚でとらえ、経費の有効利用、この事業に自分のお金だったらいくら払えるか、ということを念頭においてほしい。